

	<small>七松小学校</small> 学校だより	令和元年度 3月臨時号 尼崎市立七松小学校 校長 森本秀子
---	--------------------------------------	--

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>

《 学校評価 保護者アンケートについて 》 (評定は4段階)

領域	評価項目	R1年度 4段階評定
I 学校に関するもの	1 各種のたより、ホームページなどで、本校の教育活動や教育課題をわかりやすく伝えられている。	3.2
	2 学校は、授業参観や行事、懇談会など保護者や地域住民との交流の機会をよく設けている。	3.4
	3 子どもの安全管理について、不審者の侵入を防ぐ対策が整っている。	3.1
	4 校舎内の清掃はゆきとどいている。	3.1
	5 学校に入ると子どもの活動している様子が、その時々掲示されている。	3.3
	6 学校では、PTA 活動や各種委員会活動が活発である。	3.2
	7 学校は、保護者・地域住民の声や願いに応える教育を積極的に行っている。	3.0
	8 学習の内容や進捗などを、各種のたよりや懇談会などによって知ることができる。	3.2
	9 教職員に、子どもの心身の健康について気軽に相談できる。	3.1
	10 学級担任や教職員は、子どもの間違った行動は適切に指導してくれる。	3.3
	11 学級担任や教職員は、子どもの心を育てる仲間づくりに取り組んでいる。	3.2
II 子どもと保護者に関するもの	1 子どもの挨拶や、交通マナーはとてもよい。	2.8
	2 子どもは、学校に行くのを毎日楽しみにしている。	3.2
	3 子どもの生命を大切にすることや社会ルールを守る態度が育ってきている。	3.0
	4 子どもは、学級が楽しく仲のよい友達も多いと言っている。	3.4
	5 子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	3.0
	6 学校から送られてくるいろいろな文書などは、ていねいに読んでいます。	2.9
	7 授業参観日や懇談会などには、都合のつくかぎり出るようにしている。	3.3
	8 子どもの様子は、変化があればすぐ学校に知らせている。	2.9
	9 PTA 活動や地域行事には、よく出ている。	2.5
	10 家庭では、家庭学習、しつけや基本的な生活習慣に注意を払って指導している。	2.9
	11 学校での様子を子どもと話し合う機会をもっている。	3.1
	12 登校時や下校時には外へ出て子どもたちの安全に配慮している。	2.3

※昨年のアンケートで、オープンスクールについて、年に1度は土曜日を入れてほしいとのご意見がありました。令和年度は、函工展の保護者鑑賞日【11月23日土曜日】に合わせて、オープンスクールとしました。

※全国学力テスト、あまっ子ステップ・アップ調査のテスト等においては、伸び率が高く、一人ひとりの努力の成果がみられました。人と比べるのではなく、自分自身の課題が克服できるよう、今後も学力向上に取り組めます。

《 学校関係者評価について 》

職員の学校評価や保護者アンケート、学力・学習状況調査の結果等をもとにして、学校評議員会を開催し、その時にいただいた評価を以下に示させていただきます。（評定は4段階）

1 教育・学習内容を充実させ、確かな学力の育成と健やかな体づくりに取り組む [評定3.7]

- ・算数の力をつけるためにまずは、計算力が大切である。計算は、スピードと正確性が大事。チャレンジタイムは良い取り組みである。
- ・よく頑張っている。まちがっても良いと、子どもの精神状態をリラックスさせると、前向きに問題に取り組める。ほめて育てる。ほめられたことを、家に帰って話そうと声をかけることが大事である。
- ・放課後学習は良い取り組みである。全学年の希望者に声をかけていることが良い。基礎基本が身につくので、続けていくと応用力もついていく。
- ・小さい頃は全身運動をすると良い。公園等は遊びが制限されている所もある。運動場で遊んでいることは良いと思う。クラブ活動も身体を鍛えるために有効である。

2 心の教育を充実させ、自己実現の意識の高揚を図る [評定3.3]

- ・「挨拶を進んで出来る子」になる為には、まず先生から見本を見せていくこと。そして学校での指導と共に、家庭でも親が見本を見せて挨拶が出来るようにするしつけが大切である。
- ・子どもと向き合う時、大人が目を合わせて話をする。そうして声をかけられると嬉しい。目の前の一人に焦点を合わせること。その関わりが人間教育である。
- ・学校が出前授業で招いている「歯みがき指導」等、これからも続けていきたい。

3 家庭・地域・学校の連携を深め、信頼され、活力に満ちた学校園づくりに取り組む [評定3.3]

- ・見守り隊をはじめ、地域の方の関わり方がすばらしい。それらの積み重ねが子どもたちを育てている。
- ・今も情報発信に意欲的に取り組んでいるが、今後も続けて学校の取り組みを発信してほしい。

4 安全な教育環境を確保し、防災意識の高揚を図る [評定3.3]

- ・避難訓練は適宜工夫して行っているので良い。地域、保護者がネットワークを作っていくことが大事である。
- ・中学校とも連携し、小学校の高学年と共に地域を守っていく存在になってほしい。

○ 教育目標 [評定3.7]

- ・学校便り等で、教育活動の取り組みが紹介されている。子どもを中心に何をすべきかを考え、教育目標を全職員が共有していくことが大切である。
- ・情報機器を使うことは、教職員の負担軽減になり、子どもと向き合う時間ができる。

○ 研究テーマ [評定3.3]

- ・音読は大切である。言葉を大切にし、交流しあう国語の学習を積み上げて行ってほしい。
- ・一人一授業に取り組んでいることは素晴らしい。国語も、算数も大切な教科であるので、これからも研鑽し合っていく姿勢を大切にしていきたい。